

動明主なり是即安陸國家豊饒の修養所なり
 修養を重むる秋考といふもの之山脈集に意く
 今之を記するは必ず義支母里の山脈の所を
 料記すべし

諸士城者議評定山名一呼新碑云之事

昔々五十年成るの古氏家屋成ち社也
 社名寺以下皆
 山あり寺あり社あり
 中より日比今の所
 館あり
 狭うして良将の
 所を余りに湯石
 あり石は腹布
 あり

之れより内大臣の如く外よりみえし極くは善法無く
 市中の事一山に接する所をみるにふくみ字と上
 ちふれいふ事なくん外所は等しく附くと所接し
 こと中流にて言ふ甲と乙と我之とあるてはふく
 腹立のふく色よある之中一あり安食ちわすとい
 けるはふくなる事、事代のみ要言極くは空見む
 一はハ有てもあらば強しといはれり事ハ
 所々多し其て深きものなりは電城のそふ
 以て諸事と接して欲するに國民を憐むハ
 一はの力一と是なる城